

## 目標達成計画

作成日：平成 25 年 2 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	担当分遣隊の指導の下、年2回昼間・夜間想定で避難訓練を行っているが、職員の中でも不安がないとは言えず、年2回では不足を感じる。避難訓練前に再確認する事多い。	あらゆる想定で自主訓練やシミュレーションを重ね自信を持って行動の判断ができ利用者を安全に避難誘導できる。	2ヶ月に一回、安全対策委員会を開催し災害時の役割分担の確認、風水害・火災・地震時などの避難場所の確認、あらゆる想定での(近隣の火災時など)避難誘導の確認など自主訓練を含めシミュレーションを計画定期に行う。	12ヶ月
2	49	行事等の外出や買物・外食等の支援は行っているが、個人差があったり、機会が減っているように感じる。入居者の介護度重度化により、個別の外出支援が困難になっている。	行きたい時に行きたい所へでかけられる支援の充実。戸外へ出かける機会を増やしストレス発散や気分転換ができる。	スタッフ間の連携を図り、余裕をもって個別の支援が出来るように工夫する。日常生活の中で入居者の状態や想いを把握・共有し希望に添った支援が出来るようにする。	12ヶ月
3	36	職員の異動が殆んど無く、利用者との関係も馴れ合いになっている部分があり声掛けにも配慮が欠けている時がある。ホーム内でのプライバシーを損なわないケアの方法等の検討が必要と思われる。	理念に添って”まごころのこもった笑顔でゆっくりと安らぎのある暮らし”が出来るように尊厳の気持ちを持ってプライバシーに配慮したケアを行うことができる。	ホームにおけるプライバシーマニュアルを作成し実践する。研修会やマニュアルの振り返りを行い、日常的に職員が互いに注意し合ったりしてケアや声掛けを行っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。